

ふるさと祭り

7月18日・19日の2日間、「第30回にいかっぷふるさと祭り」が開催されました。今年は天候に恵まれず、18日の宵宮祭では多くの行事が中止となりました。また、19日は風がさらに強まる予想から、歌謡ショー以外の行事を中止しました。安全を最優先に判断しながら実施した2日間。会場にお越しいただいた皆さん、出演や運営に携わっていただいた皆さんに感謝申し上げます。

■ 宵宮祭（7月18日）



向井成一郎さん

■ 本祭り（7月19日）



松浦航大さん



寺島絵里佳さん



森の妖精やまちゃんさん



レ・コード館には
全国から寄せられた
約100万枚のレコードが
收藏されています。
その価値をより多くの人に届け、
未来へつなぐために、
地域おこし協力隊の南秀瞭隊員が
東京大学の学生や教授と共に、
データ登録システムの構築や
情報発信の環境整備を
進めています。

■ この取り組みで目指すこと

膨大な資料を有効活用するためには、館内で管理しているレコード情報の活用や、未登録レコードのデータベース化が課題となっていました。そこで、次の2つの取り組みを進めています。

① レ・コード館の魅力を発信



現在あるレコード情報を活用し、レコードファンが一度は訪れたいレ・コード館の魅力を広く発信します。

② レコードを活かした人の交流



レコードをきっかけに新たな交流を生み出すとともに、地域の誇りとなる施設を目指します。

これまでの取り組み

① 入力済みデータを活用する仕組みを構築



現在、レ・コード館では約53万枚分のデータ入力が完了しています。この入力済みデータを「Discogs」（音楽データベースサイト）に情報登録できるようにプログラムを開発しました。

② SNSによる情報発信のスタート



X



Instagram

レ・コード館公式SNSとして、「X」と「Instagram」を新たに加え、情報発信する取り組みを強化しました。

これからの取り組み

① 所蔵レコードの情報公開



「Discogs」（音楽データベースサイト）へ情報登録に向けて、運用方法やルールづくりをレ・コード館職員と調整しています。

② 未入力レコードの入力作業効率化



未登録レコード入力作業の効率化を図るため、レコード番号を活用したデータ登録プログラムを開発しています。

■ 南隊員ってどんな人？



南 秀瞭隊員

南隊員は競馬のほか、クラシック音楽やレコード文化にも深い関心があり、昨年の東京大学体験活動プログラムに参加しています。体験活動で高いポテンシャルを持つ新冠町の魅力と、さらに発展が可能と感じ、東京大学を休学して本年4月から地域おこし協力隊として着任しました。

南隊員の主な活動内容

- ① レ・コード館の利活用事業
- ② 東京大学体感活動プログラムの企画
- ③ 軽種馬観光の促進

東京大学体験活動プログラムを現在実施中！

8月から東京大学の学生を受け入れ、3つのプログラムで体験活動（フィールドワーク）を実施しています。活動は新冠町を拠点として行われ、地域課題の分析や産業・観光の職場体験、交流など多様な取り組みを進めています。

体験活動① 期間：8月10日（月）から8月14日（金）

体験活動② 期間：8月29日（土）から9月2日（水）

体験活動③ 期間：9月1日（火）から9月15日（火）

※体験活動の参加対象になる学生は、プログラムによって異なります。

100万枚のレコードを 未来へつなぐ

データ登録システムでレ・コード館の情報発信